



三機工業株式会社

2024年度第2四半期 決算説明資料

2024年11月11日



決算概要

- 01—事業内容 P 4
- 02—2024年度第2四半期決算概要 P 5
- 03—セグメント別業績 P 14
- 04—業績予想 P 18
- 05—株主還元・資本政策 P 21

中期経営計画進捗状況

- 06—中期経営計画の進捗状況 P 23

補足資料

P 31

2024年度第2四半期

決算概要

2025年の
創立100周年に向け、
ステークホルダーの皆様から
さらに「選ばれる」会社を
目指します

Since 1925



建築設備事業

ビル空調衛生、主に工場向けの空調設備を中心とする産業空調、電気設備及びファシリティシステムに関する事業等

売上構成比率
(2024年度第2四半期)

83%



機械システム事業

主に搬送システム及び搬送機器に関する製造販売事業で構成

売上構成比率
(2024年度第2四半期)

5%



環境システム事業

上下水道施設及び廃棄物処理施設に関する事業で構成

売上構成比率
(2024年度第2四半期)

11%



不動産事業

保有不動産の賃貸業務と建物管理にかかわる事業を展開

売上構成比率
(2024年度第2四半期)

1%

決算サマリー（連結）

民間企業の堅調な設備投資に加え、順調な工事進捗により業績は好調に推移し、

■売上高、利益、受注高のいずれも第2四半期決算の過去最高※を更新

売上高

豊富な繰越工事が進捗したことにより増収

前年同期比 +18.4%

1,059億円

売上総利益
(率)

増収に加え、建築設備事業での利益率改善により増益

前年同期比 +43.7%

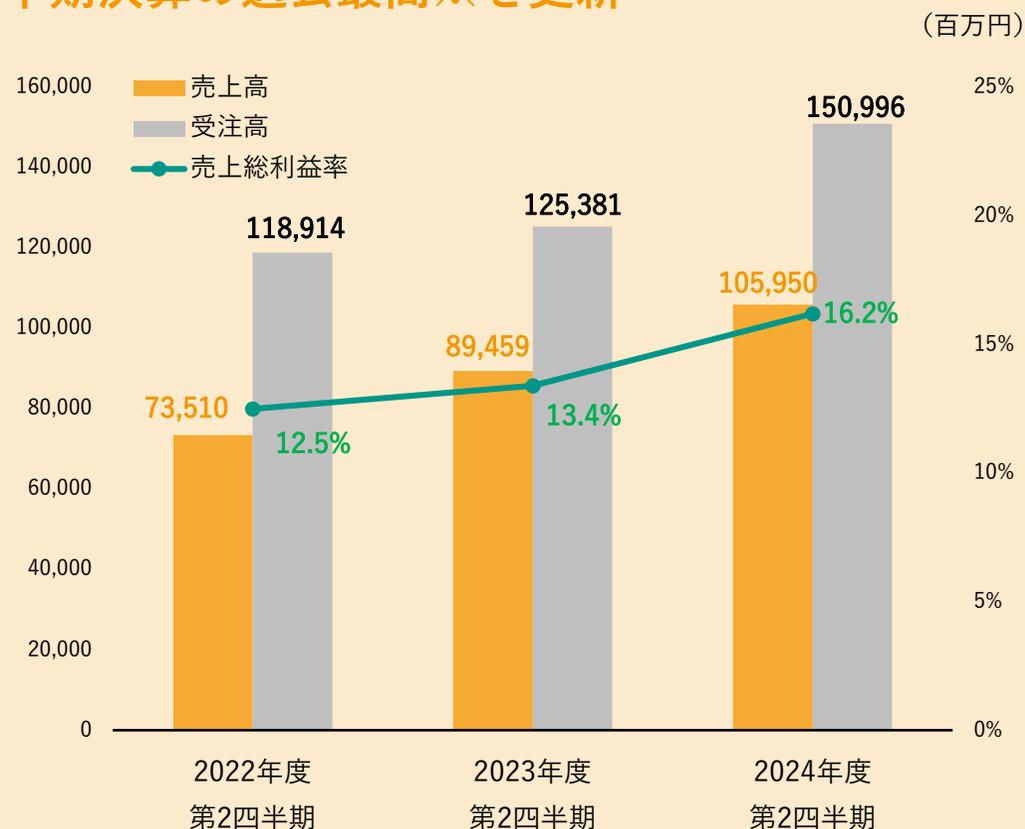
171億円(16.2%)

受注高

建築設備事業で大型工事を受注したことにより増加

前年同期比 + 20.4%

1,509億円



※四半期決算の開示を開始した2008年度以降

連結業績（P/L・受注）

- 繰越工事の進捗により増収、特に建築設備事業の大型工事が寄与
- 増収に加え、建築設備事業で受注時および施工中の利益率改善が進んだことにより大幅な増益
- 受注高は、建築設備事業で複数の大型工事を受注したことより増加、次期繰越高のうち約50%が今期売上予定

(百万円)

	2023年度 第2四半期	2024年度 第2四半期	前年同期対比	増減率 (%)
売上高	89,459	105,950	16,491	18.4
完成工事高	88,172	104,629	16,456	18.7
不動産事業等売上高	1,286	1,320	34	2.7
売上総利益	11,969	17,198	5,228	43.7
完成工事総利益	11,442	16,635	5,193	45.4
不動産事業等総利益	527	562	35	6.6
売上総利益率 (%)	13.4	16.2	2.8 _{pt.}	—
販売費及び一般管理費	10,688	11,271	583	5.5
営業利益	1,281	5,926	4,645	362.5
経常利益	1,878	6,639	4,761	253.5
親会社株主に帰属する中間純利益	1,409	4,450	3,041	215.8
受注高	125,381	150,996	25,615	20.4
次期繰越高	224,348	243,948	19,600	8.7

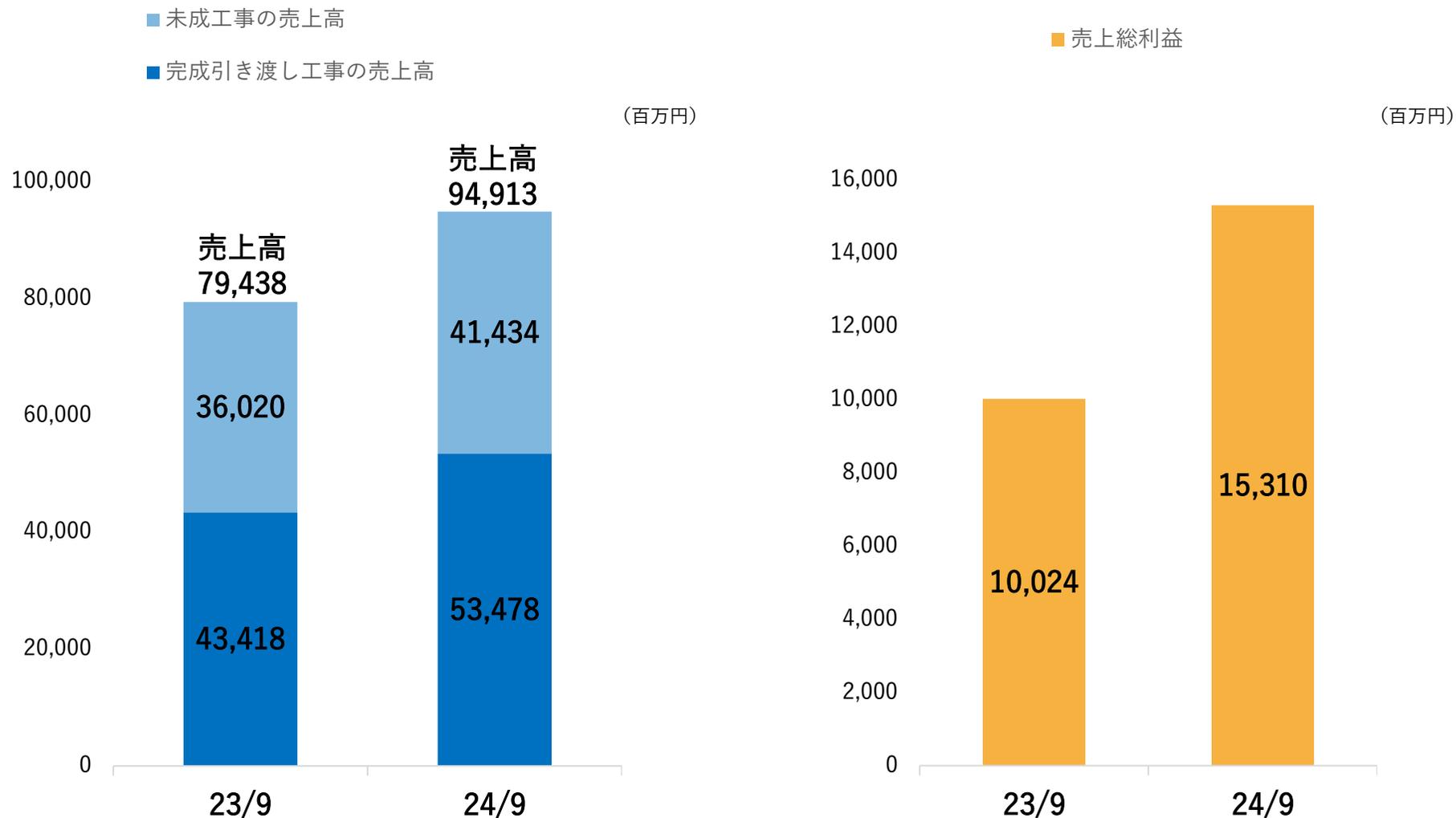
売上高・経常利益の四半期推移

- 従来、第1四半期と第2四半期は売上高・利益の進捗が通期業績に対して低いという季節的要因があるが、当期は利益率の高い大型工事が寄与し、売上・利益とも前年同期から増収増益となった。

(百万円)

	2022年度				2023年度				2024年度	
	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2
売上高	33,450	40,059	52,203	65,152	40,727	48,732	60,152	72,309	48,527	57,422
売上総利益	3,948	5,213	7,546	10,304	5,231	6,738	9,959	12,713	7,178	10,020
売上総利益率 (%)	11.8	13.0	14.5	15.8	12.8	13.8	16.6	17.6	14.8	17.5
販売費及び一般管理費	5,209	5,212	5,193	5,987	5,250	5,437	5,242	7,124	5,637	5,634
営業利益(△は損)	△1,260	0	2,352	4,316	△18	1,300	4,716	5,588	1,540	4,386
経常利益(△は損)	△860	109	2,688	4,310	359	1,519	5,102	5,770	2,087	4,551
親会社株主に帰属する 当期純利益(△は損)	△637	△132	1,754	3,766	339	1,070	3,452	4,090	1,345	3,104
受注高	46,974	71,939	62,749	46,890	52,631	72,749	61,781	45,233	70,732	80,264

参考： 売上高に占める完成引き渡し工事と売上総利益（個別：設備工事業）



貸借対照表 (B/S)

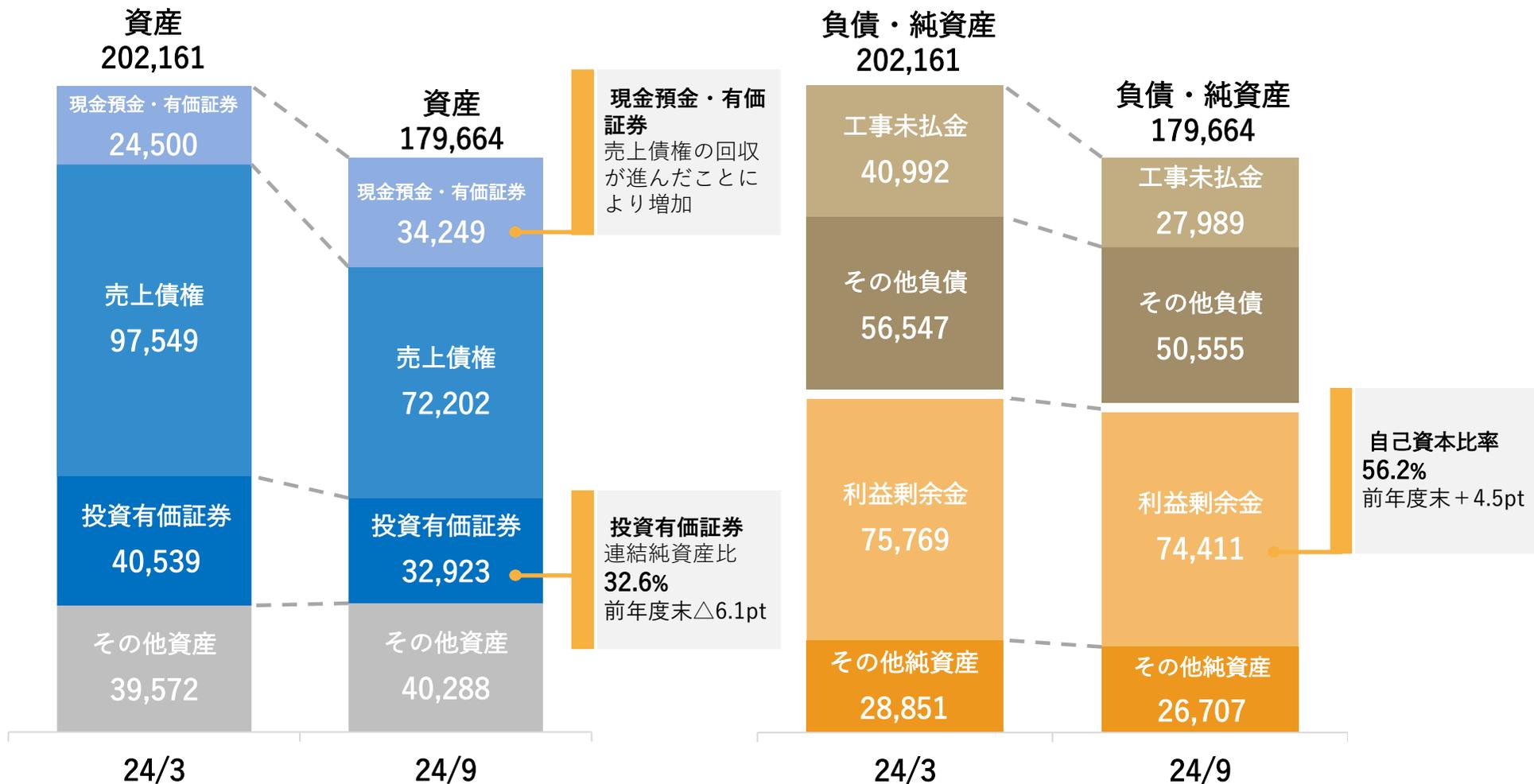
(百万円)

	2023年度末	2024年度 第2四半期	増減	
流動資産	131,564	117,539	△14,024	
現金預金・有価証券	24,500	34,249	9,748	
売上債権※	97,549	72,202	△25,346	売上債権 季節的変動による減少
固定資産	70,596	62,124	△8,471	
投資有価証券	40,539	32,923	△7,615	投資有価証券 主に時価の下落による減少
資産合計	202,161	179,664	△22,496	
流動負債	81,597	64,507	△17,090	
工事未払金	40,992	27,989	△13,002	工事未払金 季節的変動による減少
固定負債	15,941	14,038	△1,903	
純資産額	104,621	101,118	△3,502	
利益剰余金	75,769	74,411	△1,358	
その他有価証券評価差額金	19,646	14,289	△5,357	その他有価証券評価差額金 時価の下落による減少
負債・純資産合計	202,161	179,664	△22,496	
1株当たり純資産 (円)	1,967.03	1,902.33	△64.70	
自己資本比率 (%)	51.7	56.2	4.5 pt.	
借入金	8,760	8,220	△539	

※売上債権…受取手形・電子記録債権・完成工事未収入金等・契約資産

財務状況（連結）

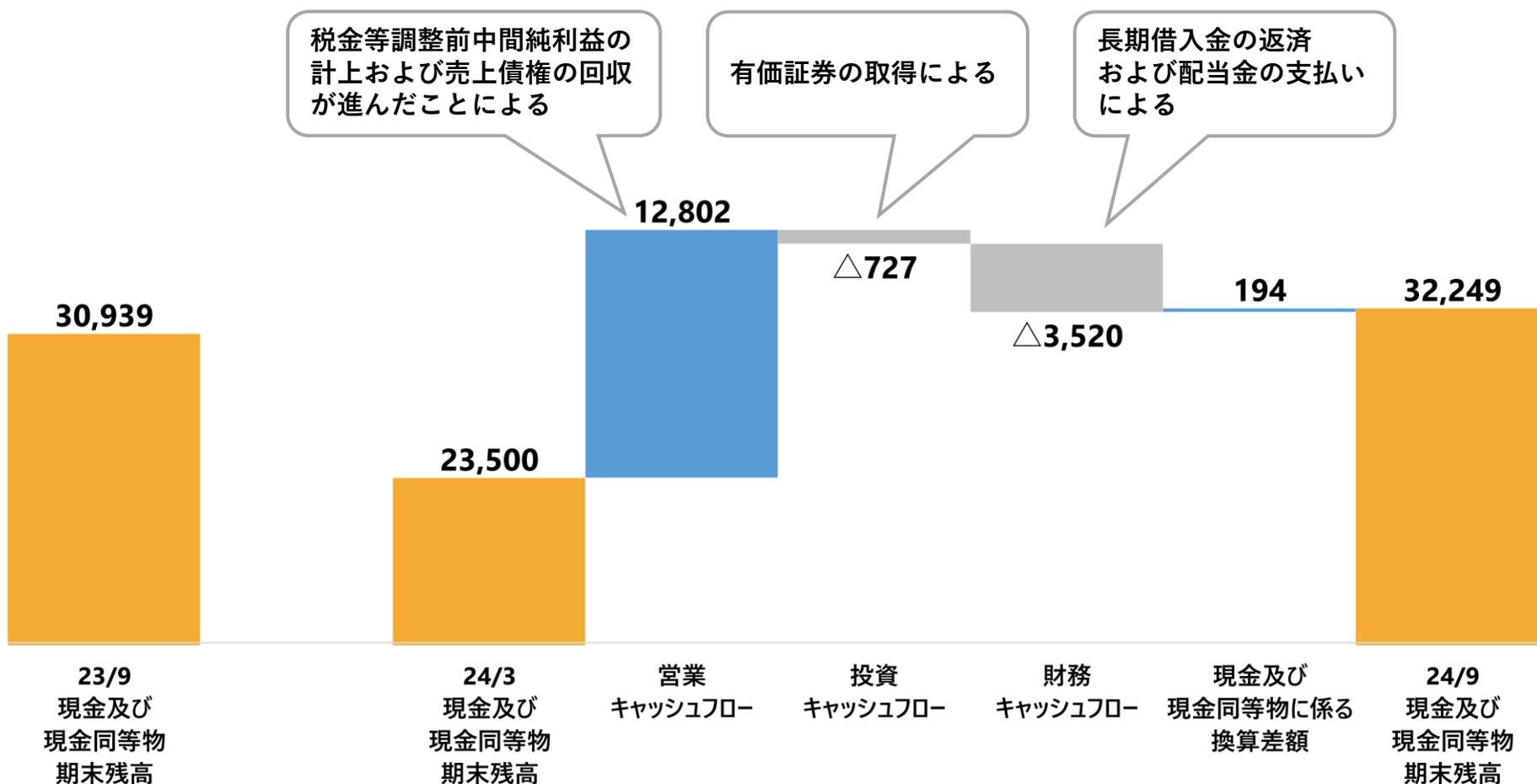
（百万円）



キャッシュ・フロー

- 現金および現金同等物の残高は前年度末より増加

(百万円)



主な大型受注物件

- 大型受注工事物件

物件名	工事種目	工事種類	所在地
第一三共バイオテック／非常用発電設備設置工事	電気・空調設備工事	改修	埼玉
タカラバイオ遺伝子・細胞プロセッシングセンター3号棟(1H棟)建設工事	空調・衛生設備工事	新築	滋賀
トヨタスポーツセンター第一体育館改築	空調・衛生・電気設備工事	改築	愛知
南北線南車両基地工場棟改築ほか工事	空調・衛生設備工事	新築	北海道
森ヶ崎水再生センター消化ガス発電事業設計・建設	上下水設備工事	新築	東京
杏林大学／特高設備更新工事	電気設備工事	改修	東京
杏林大学／特高更新インフラ盛替工事	電気設備工事	改修	東京
(仮称)GSユアサ横江工場建設工事	空調設備工事	新築	滋賀
トヨタ自動車株式会社 明知次世代電池工場	空調・衛生・電気設備工事	新築	愛知
盛岡熱供給冷温熱源取替工事	空調設備工事	改修	岩手
千歳市スラッジセンター汚泥処理設備機械工事	上下水設備工事	更新	北海道

* 物件名は当社において使用している名称であり、工事契約上の名称と異なる場合があります。

他 4件

主な大型完成工事物件

- 大型完成工事物件

物件名	工事種目	工事種類	所在地
アーバンネット御堂筋ビル	空調設備工事	新築	大阪
(仮称) パナソニック株式会社末広町ビル計画	空調・衛生設備工事	新築	大阪
トヨタ自動車株式会社 明知1C 電池工場建設工事	空調・衛生・電気設備工事	新築	愛知
キオクシア岩手株式会社新管理棟第1期機械設備工事	空調・衛生設備工事	新築	岩手
陽進堂第三工場新築工事	空調・衛生設備工事	新築	富山
春日井浄水場活性炭注入設備工事	上下水設備工事	新築	愛知

* 物件名は当社において使用している名称であり、工事契約上の名称と異なる場合があります。

他 8件

セグメント別 受注高 (連結)

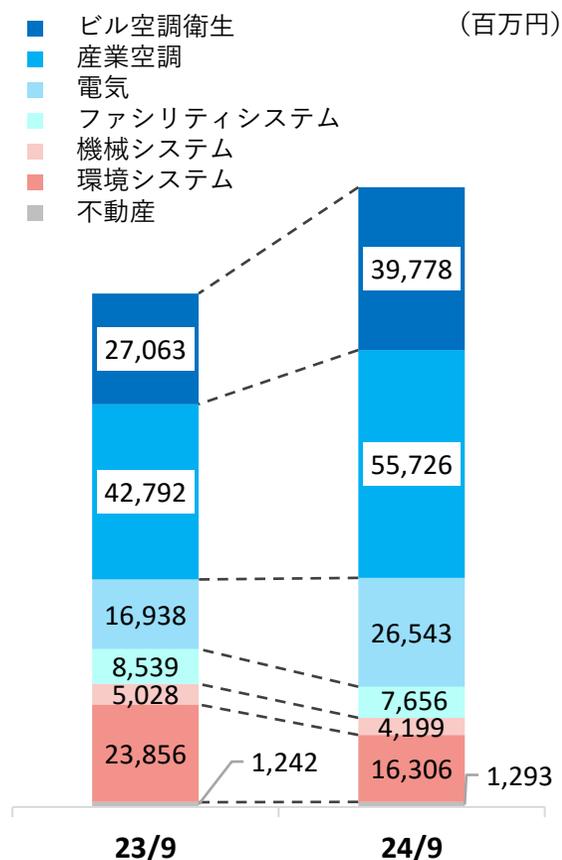
建築設備事業

都市再開発やEV電池工場などの大型工事を受注したことにより大幅に増加

プラント設備事業

環境システムで前期に複数の大型工事を受注し、豊富な繰越工事を確保していることから
施工体制を考慮した受注活動をおこない減少

	2023年度	2024年度	前期比	
	第2四半期 受注高	第2四半期 受注高	増減	率 (%)
ビル空調衛生	27,063	39,778	12,714	47.0
産業空調	42,792	55,726	12,934	30.2
電気	16,938	26,543	9,604	56.7
ファシリティシステム	8,539	7,656	△882	△10.3
建築設備 計	95,333	129,704	34,370	36.1
機械システム	5,028	4,199	△829	△16.5
環境システム	23,856	16,306	△7,550	△31.6
プラント設備 計	28,885	20,505	△8,380	△29.0
不動産	1,242	1,293	51	4.2
その他	301	336	35	11.8
調整額*	△381	△843	△461	—
合計	125,381	150,996	25,615	20.4



* 各セグメントに含まれている内部取引は、「調整額」で消去しています

セグメント別 売上高（連結）

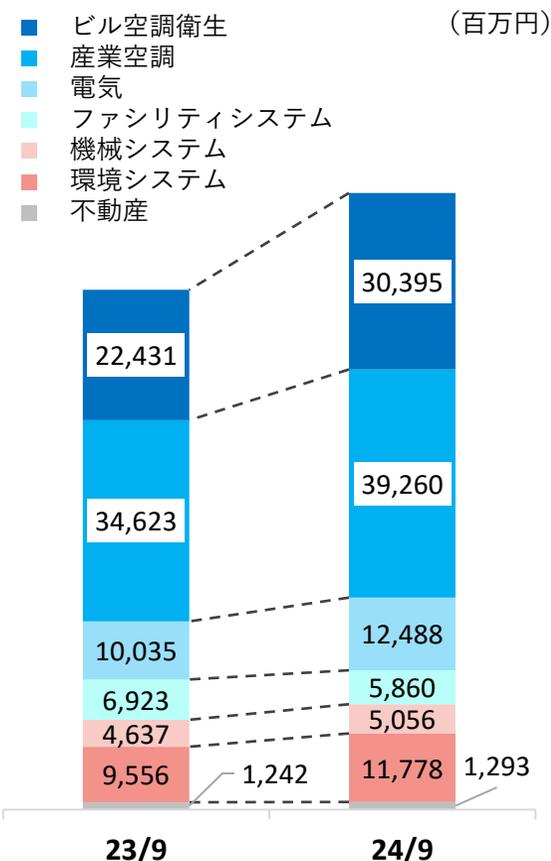
建築設備事業

ビル空調衛生、産業空調、電気いずれも大型繰越工事の進捗により増収

プラント設備事業

環境システムで廃棄物処理施設の大型繰越工事が進捗したことにより増収

	2023年度	2024年度	前期比	
	第2四半期	第2四半期	増減	率 (%)
	売上高	売上高		
ビル空調衛生	22,431	30,395	7,964	35.5
産業空調	34,623	39,260	4,636	13.4
電気	10,035	12,488	2,453	24.4
ファシリティシステム	6,923	5,860	△1,063	△15.4
建築設備 計	74,014	88,004	13,990	18.9
機械システム	4,637	5,056	418	9.0
環境システム	9,556	11,778	2,222	23.3
プラント設備 計	14,193	16,834	2,641	18.6
不動産	1,242	1,293	51	4.2
その他	283	327	43	15.4
調整額*	△274	△509	△235	—
合計	89,459	105,950	16,491	18.4



*各セグメントに含まれている内部取引は、「調整額」で消去しています

セグメント別 売上総利益（連結）

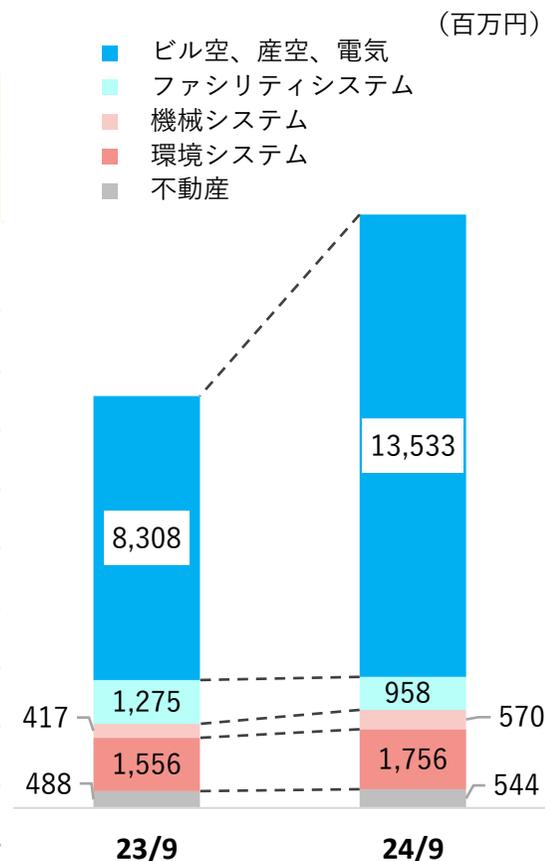
建築設備事業

増収に加え、受注時および施工中の利益率改善により増益、特にEV電池工場の完成が寄与
 ファシリティシステムは第1四半期に発生した不採算工事の影響で減益

プラント設備事業

機械システムは、採算性は依然として低調だが、物価上昇に対する価格転嫁が進んだことにより売上総利益率が改善
 環境システムは、増収により増益

	2023年度 第2四半期		2024年度 第2四半期		前年同期比		
	売上総利益（率：%）		売上総利益（率：%）		増減		率（%）
ビル空調衛生・ 産業空調・電気	8,308	(12.4)	13,533	(16.5)	5,225	(4.1)	62.9
ファシリティシステム	1,275	(18.4)	958	(16.4)	△317	(△2.0)	△24.9
建築設備 計	9,583	(12.9)	14,492	(16.5)	4,908	(3.6)	51.2
機械システム	417	(9.0)	570	(11.3)	152	(2.3)	36.4
環境システム	1,556	(16.3)	1,756	(14.9)	200	(△1.4)	12.9
プラント設備 計	1,974	(13.9)	2,326	(13.8)	352	(△0.1)	17.8
不動産	488	(39.3)	544	(42.1)	55	(2.8)	11.4
その他	17	(6.1)	32	(9.9)	15	(3.8)	86.9
調整額	△93	(-)	△196	(-)	△102	(-)	-
合計	11,969	(13.4)	17,198	(16.2)	5,228	(2.8)	43.7

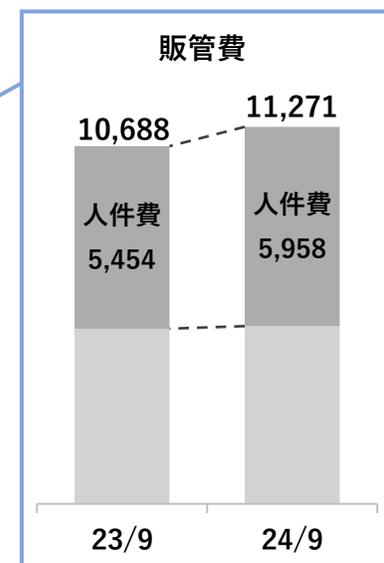
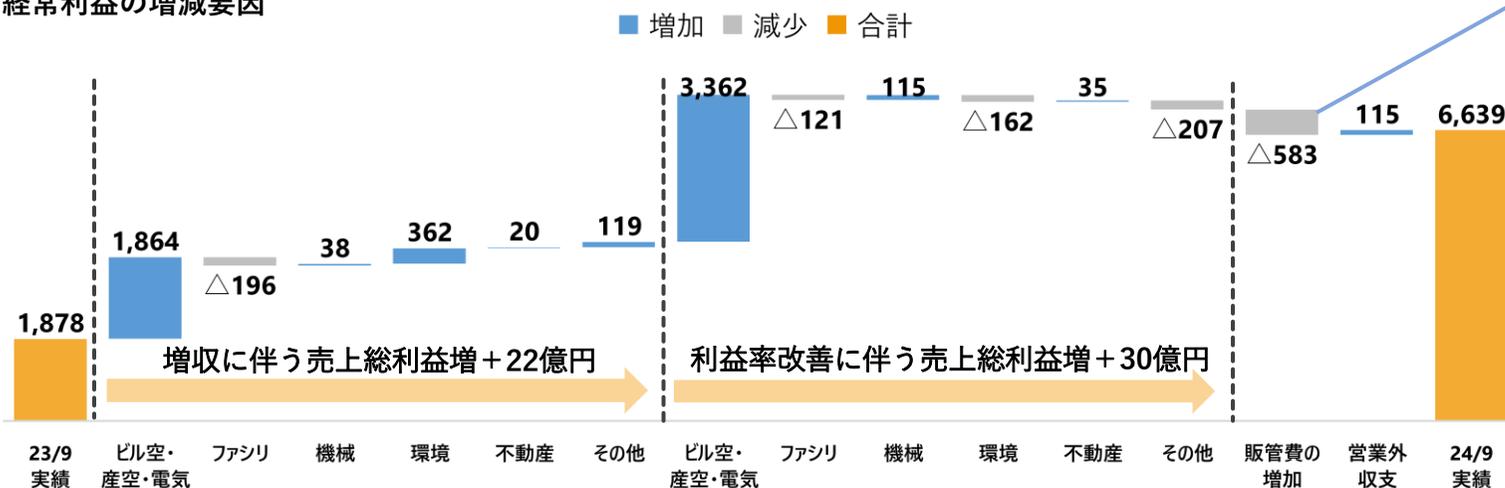


セグメント別 経常利益（連結）

(百万円)

	2023年度 第2四半期	2024年度 第2四半期	前年同期比	
	経常利益	経常利益	増減	率 (%)
建築設備	1,236	5,784	4,548	368.0
機械システム	△518	△449	69	—
環境システム	△203	△104	98	—
不動産	477	499	21	4.6
その他	△20	2	22	—
調整額	906	906	△0	△0.0
合計	1,878	6,639	4,761	253.5

経常利益の増減要因



2024年度 業績予想（連結）

売上高・利益

大型繰越工事の進捗が期初の予想以上に見込まれることに加え、採算性を重視した受注活動や施工における原価低減の取り組みの継続によって利益率の改善が見込まれることから予想を上方修正

受注高

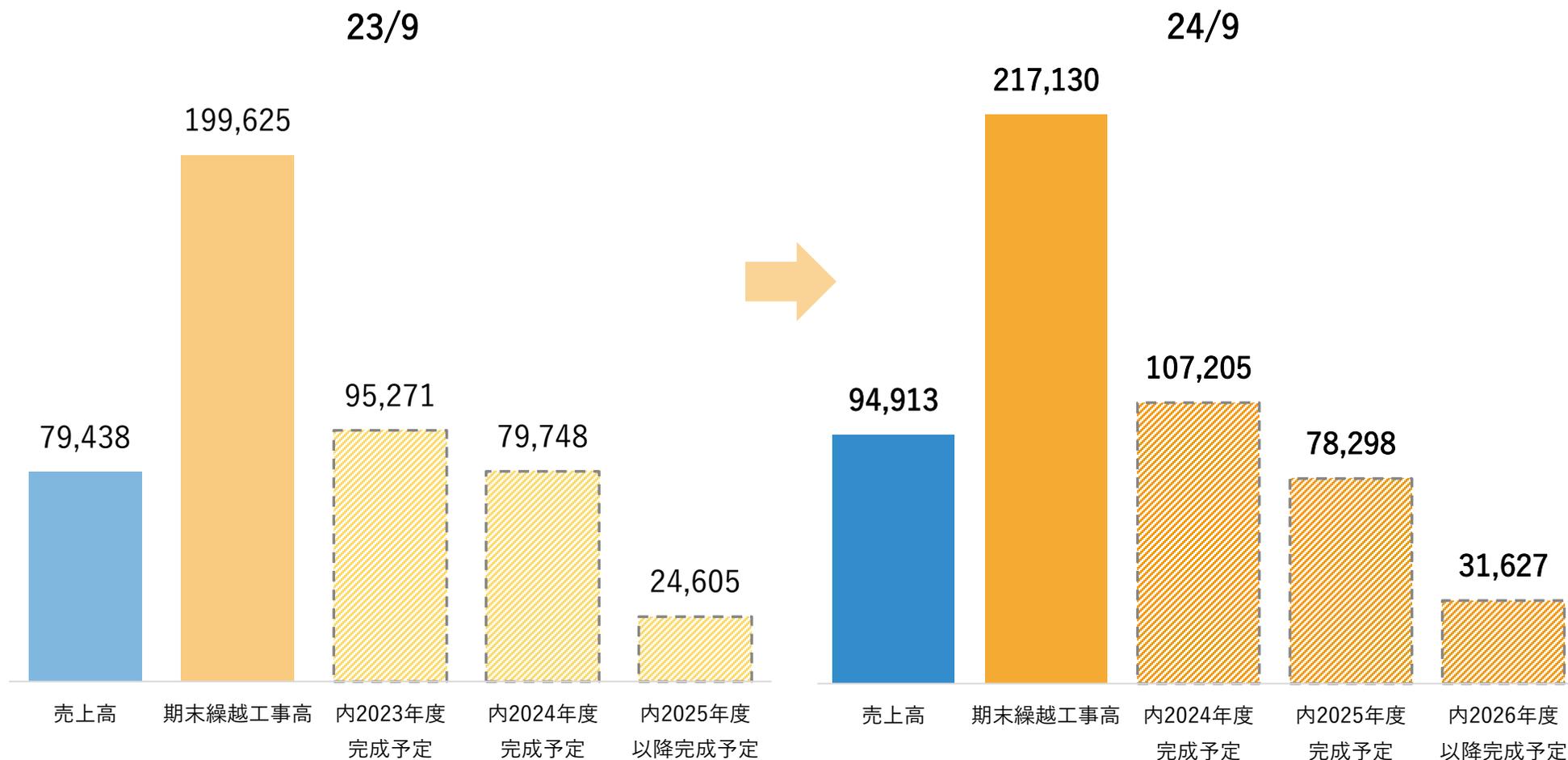
ビル空調衛生、産業空調の受注が堅調に推移したことや、良好な受注環境が引き続き見込まれることから予想を上方修正

(百万円)

	2023年度実績	8/9発表 期中予想 A	11/11発表 期中予想 B	増減率(%) B - A
売上高	221,920	225,000	245,000	8.9
売上総利益	34,642	36,500	42,000	15.1
売上総利益率 (%)	15.6	16.2	17.1	—
営業利益	11,586	12,500	16,500	32.0
経常利益	12,750	13,000	17,000	30.8
親会社株主に 帰属する当期純利益	8,951	8,800	11,600	31.8
受注高	232,396	210,000	230,000	9.5
次期繰越高	198,902	183,902	183,902	—

参考 次期繰越工事高と完成予定について（個別：不動産事業除く）

（百万円）



セグメント別 受注高・売上高予想（連結）

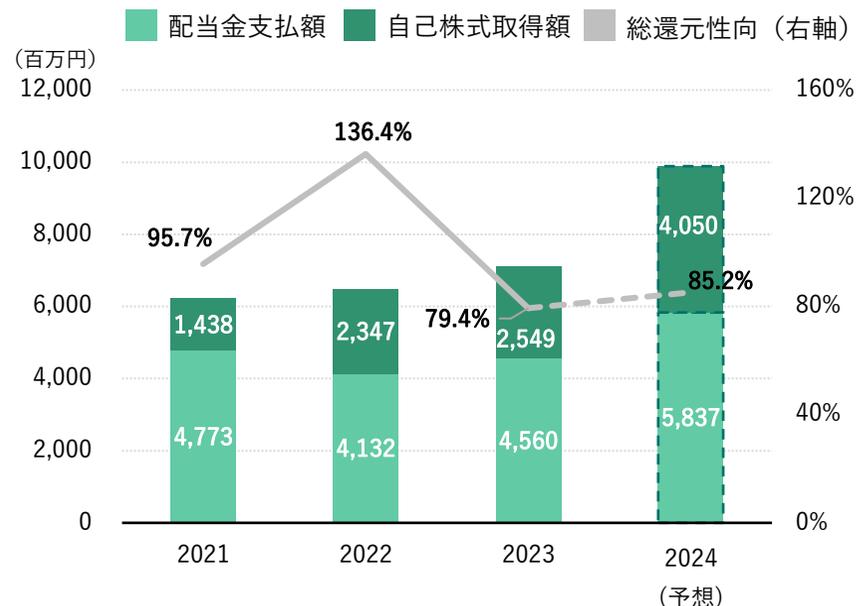
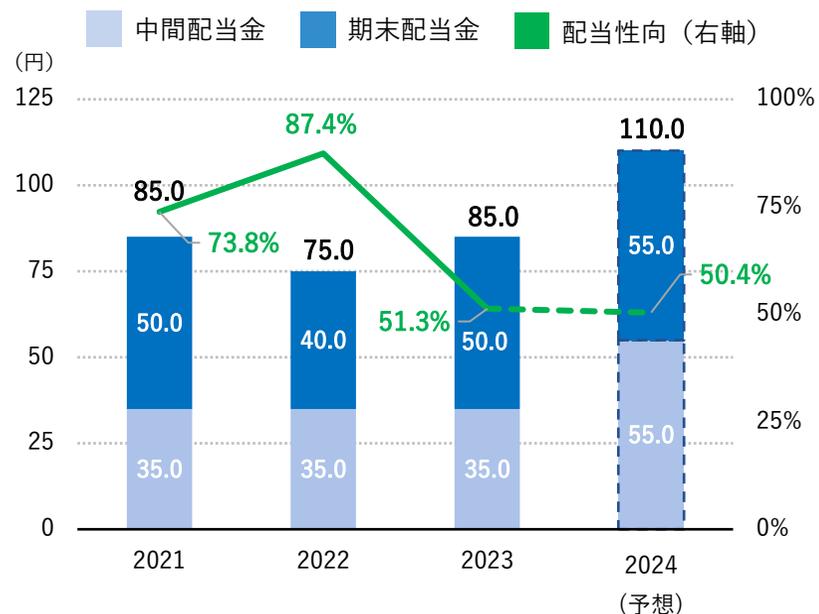
- 業績予想の修正に伴い、一部のセグメントの受注高・売上高予想を修正

(百万円)

	8/9発表 期中予想 A	11/11発表 期中予想 B	B - A	8/9発表 期中予想 A	11/11発表 期中予想 B	B - A
	受注高	受注高	増減	売上高	売上高	増減
ビル空調衛生	60,000	64,000	4,000	67,000	70,000	3,000
産業空調	72,000	80,000	8,000	76,000	88,000	12,000
電気	27,000	35,000	8,000	25,000	30,000	5,000
ファシリティシステム	13,000	13,000	—	13,000	13,000	—
建築設備 計	172,000	192,000	20,000	181,000	201,000	20,000
機械システム	13,000	12,000	△1,000	13,000	12,000	△1,000
環境システム	23,000	24,000	1,000	29,000	30,000	1,000
プラント設備 計	36,000	36,000	—	42,000	42,000	—
不動産	2,500	2,500	—	2,500	2,500	—
その他	600	600	—	600	600	—
調整額	△1,100	△1,100	—	△1,100	△1,100	—
合計	210,000	230,000	20,000	225,000	245,000	20,000

株主還元の状態

- 中期経営計画“Century 2025” Phase3における株主還元方針に基づき安定的な還元を実施
- 業績予想の修正に伴い配当予想を通期110円に引き上げ、配当性向50.4%を予定
- 2025年3月末までに150万株の自己株式を取得予定、8月19日に200万株の自己株式消却を実施



株主還元方針

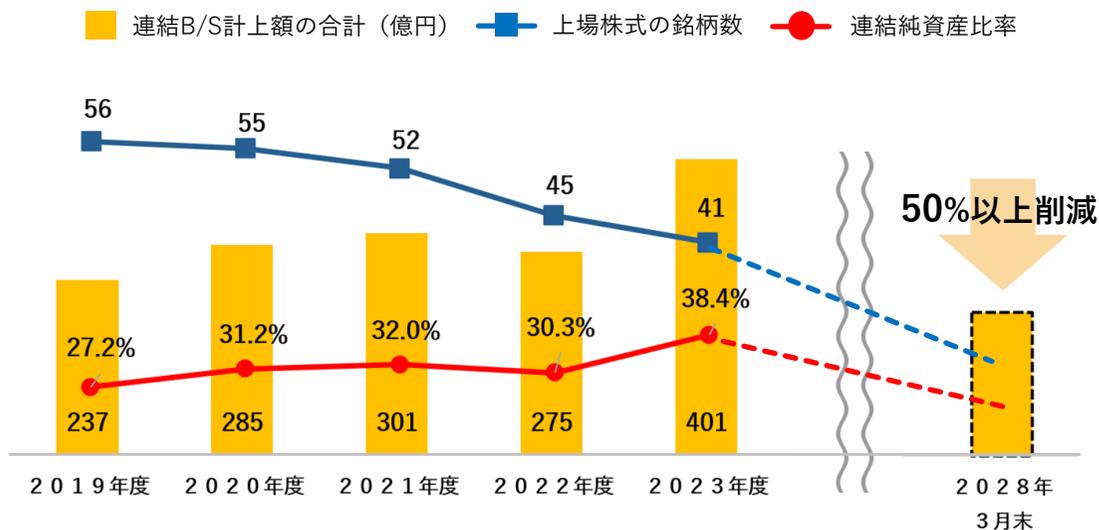
配当性向 50%以上、1株当たり年間配当金 70円以上
自己株式取得 500万株程度※

※中期経営計画の期間中（2022年度～2025年度）の累計

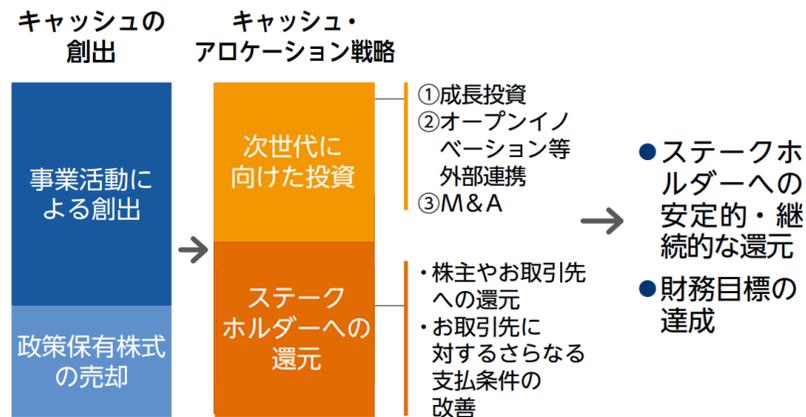
財務・資本政策

政策保有株式の縮減について

- 2028年3月末までに政策保有株式を連結純資産の20%未満とすることを目標に、2024年3月末時点から上場株式の銘柄数、金額ともに50%以上削減
- 政策保有株式売却によって得られるキャッシュは、企業価値向上につながる次世代に向けた投資へ活用



キャッシュ・アロケーションの考え方



中期経営計画進捗状況

中期経営計画の基本方針

Phase3は、長期ビジョン“Century 2025”の総仕上げとなる中期経営計画として、これまで取り組んできた「質」と「信頼」を高める施策をさらに成熟・進化させるとともに、新たな3つの施策「社会のサステナビリティへの貢献」「働き方改革の加速」「次世代に向けた投資」によって「選ばれる」会社を実現します。

Phase 1 「質」を高める

コア事業の強化

要素技術を高め安定成長

成長戦略の推進

未来に向けた技術と領域の成長

三機ブランドの向上

「三機らしい」人財の育成と社会貢献

2016—2018年度

「技術」と「人」を磨き「質」を高める

Phase 2 「信頼」を高める

「質」へのさらなる追求

- 施工の生産性向上
- 省エネ、省力化ニーズへの対応
- 技術開発の推進
- 社内コミュニケーションの向上

財務・資本政策の開示

情報発信力の強化

2019—2021年度

「質」と「信頼」を高める施策の成熟・進化

Phase 3 「選ばれる」

社会のサステナビリティへの貢献

働き方改革の加速

次世代に向けた投資

2022—2025年度

長期ビジョン
“Century2025”

ステークホルダーから
もっと「選ばれる会社」の実現

Phase3(2022－2025年度) の業績目標と実績

	Phase3 最終2025年度目標	2022年度 実績	2023年度 実績	8/9発表 2024年度予想	11/11発表 2024年度予想
売上高	2,200億円	1,908億円	2,219億円	2,250億円	2,450億円
売上総利益 (率)	360億円 (16.5%)	270億円 (14.2%)	346億円 (15.6%)	365億円 (16.2%)	420億円 (17.1%)
経常利益 (率)	120億円 (5.5%)	62億円 (3.3%)	127億円 (5.7%)	130億円 (5.8%)	170億円 (6.9%)

	Phase3期間中の目標 2022～2025年度	2022年度 実績	2023年度 実績	8/9発表 2024年度予想	11/11発表 2024年度予想
配当方針	配当性向50%以上 1株当たり年間配当金70円以上	87.4% 年間配当金75円	51.3% 年間配当金85円	51.3% 年間配当金85円	50.4% 年間配当金110円
自己株式取得	500万株程度※	150万株	142万株	150万株	150万株
ROE	8.0%以上	5.1%	9.2%	—	11.1%
成長投資	200億円程度※	32億円	27億円	—	—

※計画期間中の累計

重点施策の進捗

Phase1から継続する取り組み

「質」を高める施策の成熟・進化

施策 1 コア事業の強化

建築設備事業

- 設計本部を新設、産業空調を中心とした大型、特殊物件への対応力強化、半導体・EV電池関連大型工事の受注高が大幅に増加

各拠点の設計部門と連携し、見積りの初期段階からデザインレビューを強化。手戻りを減らし、品質のさらなる向上を図る。

- ファシリティシステム事業でスタートアップ企業と共同し、オフィスデザイン業務を効率化するアプリケーションを開発中

機械システム事業

- 自動車関連物件への対応力強化のため、中部地区の営業人員を増員
- 自動仕分けシステム「メリス・ビアンカ®」が2024年度グッドデザイン賞を受賞

環境システム事業

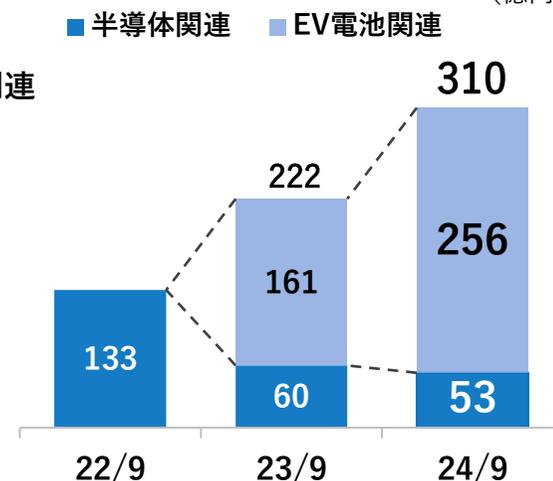
- 国内最大の水再生センター「森ヶ崎水再生センター消化ガス発電事業」を受注(DBO方式※)、安定した長期ビジネスを展開するための体制強化

※DBO(Design Build Operate)：設計・建設と運営・維持管理を民間事業者に一括発注するPPP（官民連携）

手法のひとつ。本事業において当社は2027年3月までに施設を建設、20年間にわたり維持管理・運営を行う。

半導体、EV電池関連大型工事の受注高推移

(億円)



自動仕分けシステム「メリス・ビアンカ®」

重点施策の進捗

Phase1から継続する取り組み

「質」を高める施策の成熟・進化

施策 2 成長戦略の推進

● 「地球MIRAIプロジェクト」※の推進

第1期と第2期で選ばれたプロジェクトのブラッシュアップと実現可能性を探索



※グループ全従業員を対象に“未来に向けたユニークで新しいカイトキ”をテーマとしてアイデアを募集し具体化を目指す、次の100年をつくる新たな技術や事業分野を追求する社内プロジェクト

施策 3 三機ブランドの向上

● 環境省「環境サステナブル企業」※に認定

※環境省「ESGファイナンス・アワード・ジャパン」において、「環境関連の重要な機会とリスク」を経営戦略に取り込み、企業価値向上と環境への取り組みを両立している企業を認定

● 南極地域観測事業への継続した貢献により「国立極地研究所南極観測パートナー企業」に認定



重点施策の進捗

Phase2から継続する取り組み

「信頼」を高める施策の成熟・進化

施策 1 財務・資本政策の開示

- 政策保有株式の縮減方針を開示

※詳細はP22を参照

施策 2 情報発信力の向上

- 小学生向けイベント「かんきょう1日学校」に参画

朝日新聞社主催の小学生向けイベント「かんきょう1日学校」に、特別協賛企業として参画、約120名の小学生に向けて地球環境に関する授業を開催。本イベントの一環として全国の小学校での出張授業も実施

- テレビ、新聞等のメディアを通した三機ブランドの発信強化

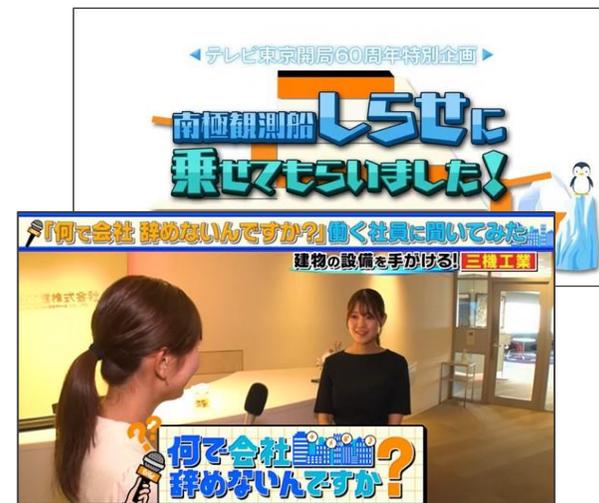
➢ 7月21日放送 テレビ東京系列「南極観測船“しらせ”に乗せてもらいました！」に広告出稿（当社社員が第64次、65次南極地域観測隊として出演）

➢ 9月15日放送 テレビ東京系列「何で会社辞めないんですか？」に当社が出演

[当社YouTubeチャンネル](#)でアーカイブ動画を公開中



「かんきょう1日学校」の様子



重点施策の進捗

Phase3からの新たな取り組み

会社の「質」と「信頼」の向上

施策 1 社会のサステナビリティへの貢献

- **沖縄科学技術大学院大学（OIST）の「サンゴプロジェクト」スペシャルパートナーへ参画**
これまで実施してきた植樹・育樹活動による森づくりの支援と併せて、新たに「海の森」とも称されるサンゴ礁の保全活動への支援をおこなうことで、より包括的な環境保全活動を展開
- **三機環境園※1 が環境省「令和6年度前期自然共生サイト」※2に認定**
※1 人と自然環境の共生をコンセプトとした、三機テクノセンター（神奈川県大和市）内の約0.23haの緑地
※2 2030年までに世界の陸地と海洋の30%以上を保護・保全地域とすることをめざす国際目標「30by30」達成のため、国が認定する「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」
- **温室効果ガス削減目標のSBT（Science Based Targets）認定を取得**
企業に対して科学的根拠に基づいた中長期的な温室効果ガス削減目標策定を推進する国際イニシアチブ「SBTi」から2050年温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「ネットゼロ目標」と2030年温室効果ガス排出量削減目標「1.5°C水準」について目標の妥当性が認められSBT認定を取得

施策 2 働き方改革の加速

- 「スマイル・プロジェクト」※の推進

労働時間、パソコン使用時間のモニタリング強化や業務プロセスの改善を図る

※働きやすい環境づくりを全社横断的に実行するため、2015年度に発足した社内プロジェクト

サンゴプロジェクト

沖縄をはじめ世界のサンゴ礁の保全を目的に最新のゲノム解析技術による調査研究等を活用したサンゴの植え付け・育成活動を展開



重点施策の進捗

Phase3からの新たな取り組み

会社の「質」と「信頼」の向上

施策 3次世代に向けた投資

- **建築設備施工のDX化を加速** －ロボット技術を活用した多用途展開に着手－

建設業が抱える課題である人材不足や長時間労働の解決に向け、ロボット技術の活用により施工の生産性と品質の向上を図る。2020年に当社が開発した自動風量計測ロボットの現場導入で得た技術ノウハウを人の手で従来行ってきた騒音、照度などの計測作業にも応用、ロボットが作業を代替することで作業工数の削減を目指す。



自動風量計測ロボット

- 「ブランチボール」（3方向分岐装置）を発展させた「BBソータ™」（仕分装置）を開発、東京ビックサイトで開催された「国際物流総合展2024」に出展

段ボール箱だけでなく封筒などの薄物、アパレルなどの袋物や小物も優しく搬送・仕分けすることが可能、種類の異なる搬送物が混在する搬送にも対応



BBソータ™

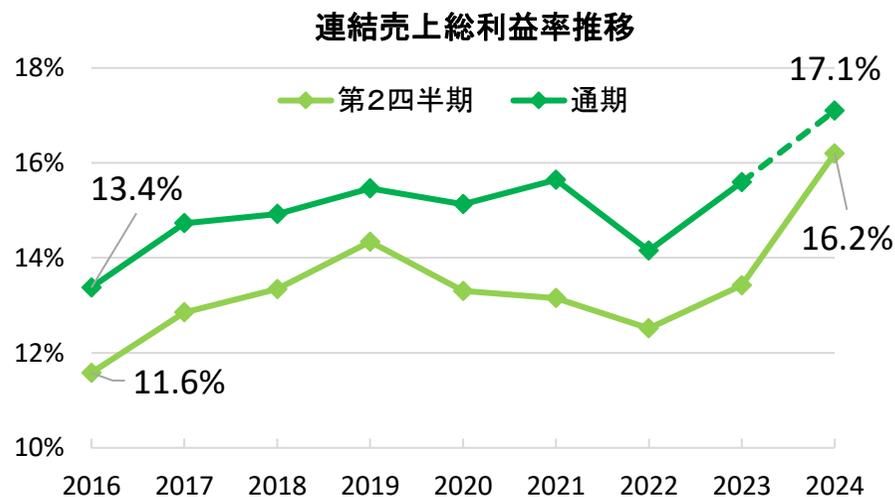
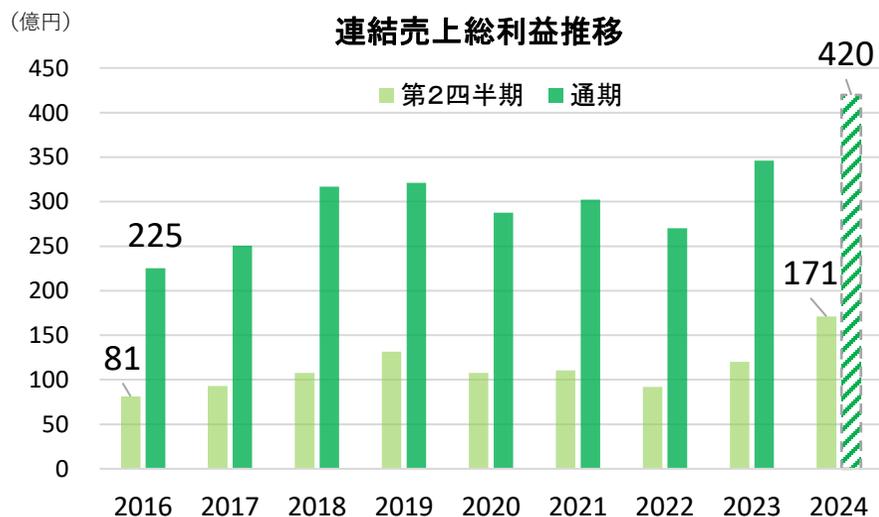
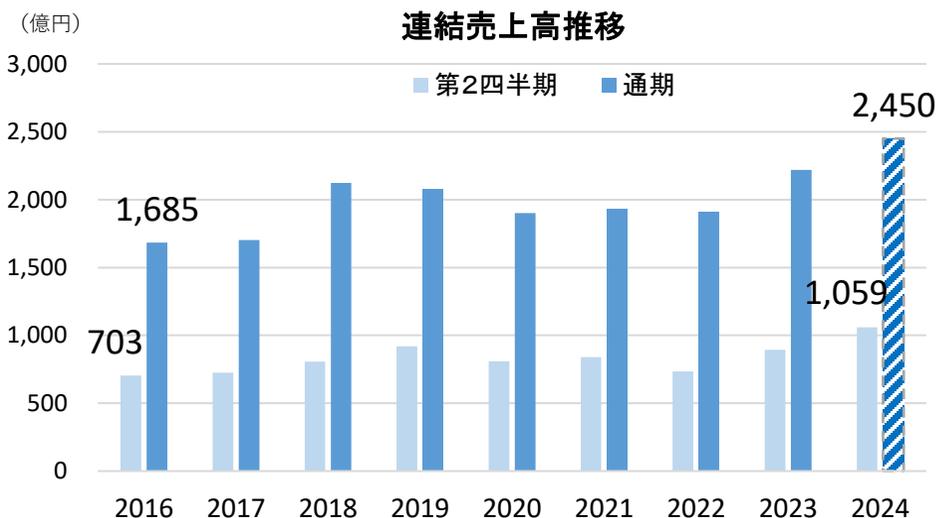
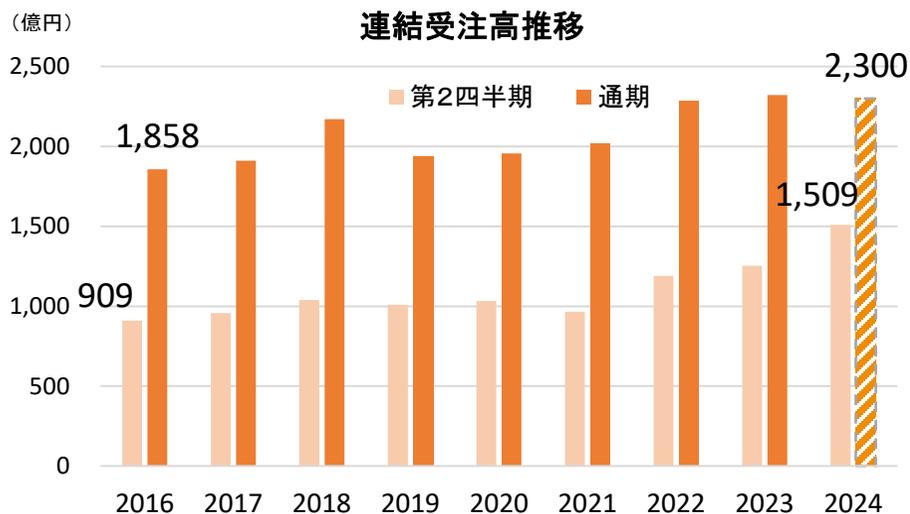
- エアロウイング（省エネ型散気装置）の生産拡大のため、海外工場の機能アップに加えて生産設備増強を国内で推進



エアロウイング

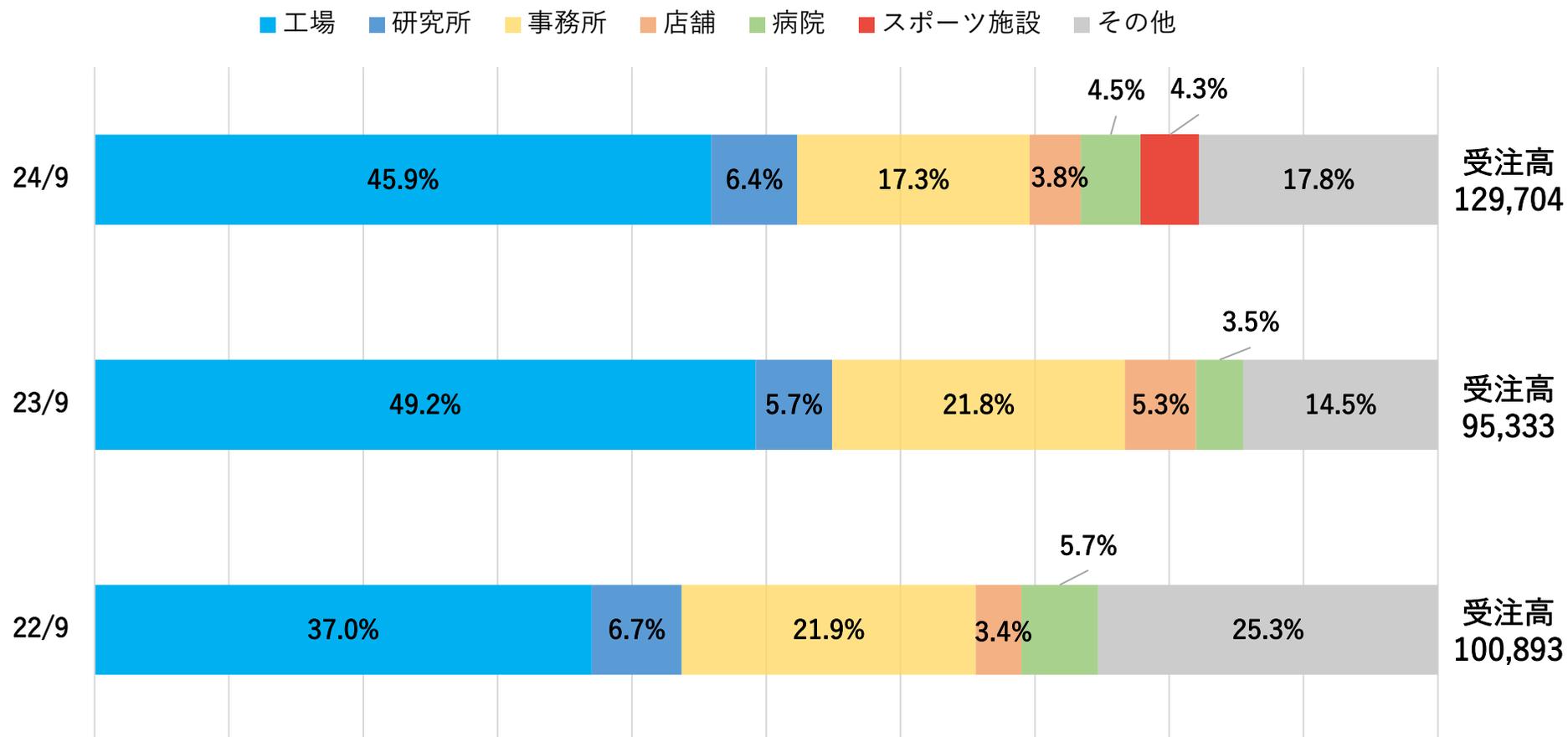
補足資料

長期ビジョン“Century 2025” 業績推移



建物用途別 受注動向（連結：建築設備事業）

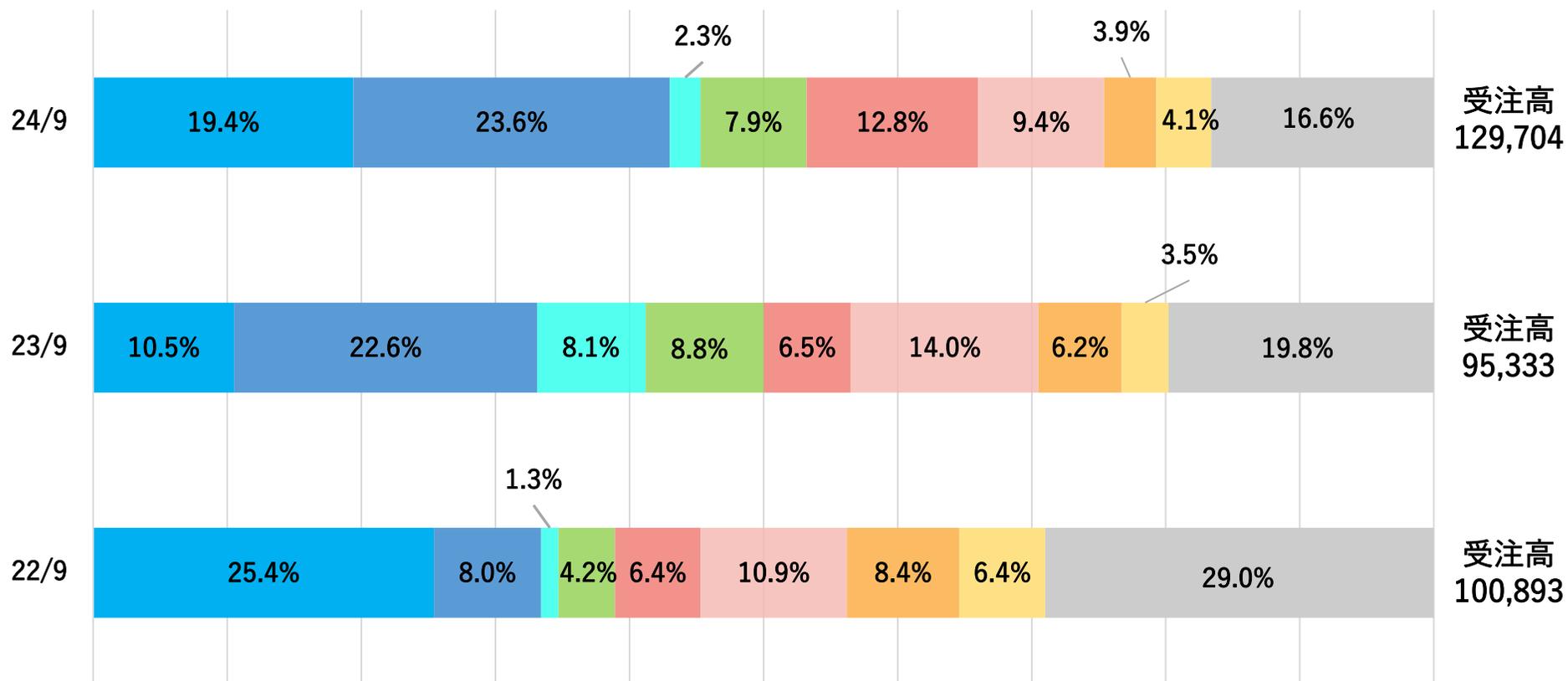
（百万円）



主要施主業種別 受注動向（連結：建築設備事業）

（百万円）

■ 電機 ■ 自動車 ■ 機械 ■ 医薬 ■ 不動産 ■ 金融・保険 ■ サービス ■ 官公庁 ■ その他



財務指標

	2022年度	2023年度	2024年9月	2024年度 (通期予想)
1株当たり当期純利益 (EPS) (円)	85.80	165.58	83.78	218.47
自己資本当期純利益率 (ROE) (%)	5.1	9.2	—	11.1
総資産経常利益率 (ROA) (%)	3.5	6.8	—	8.8
1株当たり純資産額 (BPS) (円)	1,666.36	1,967.03	1,902.33	1,982.05
期末株価 (円)	1,464	2,137	2,399	—
株価純資産倍率 (PBR) (倍)	0.88	1.09	1.26	—

その他データ

(百万円)

	2022年度	2023年度	2023年9月	2024年9月
海外受注高	3,021	3,245	1,552	1,968
海外売上高	3,488	3,675	1,794	1,837
直接受注比率（個別：建築設備）（%）	51.8	50.3	54.0	44.1
間接受注比率（個別：建築設備）（%）	48.2	49.7	46.0	55.9
リニューアル工事受注高（連結）	126,147	125,808	68,229	81,133
連結受注高に対する比率（%）	55.2	54.1	54.4	53.7
リニューアル工事売上高（連結）	112,556	120,311	49,742	53,093
連結売上高に対する比率（%）	59.0	54.2	55.6	50.1

その他データ

(百万円)

	2022年度	2023年度	2024年9月	2024年度 (通期予想)
設備投資	1,039	1,431	303	2,100
設備投資（無形固定資産等を含む）	2,279	1,694	452	2,400
有形固定資産減価償却費	1,343	1,355	657	1,500
無形固定資産等を含む減価償却費	1,511	1,853	933	2,000
試験研究開発費	1,503	1,531	726	2,600
従業員数(名)	2,627	2,659	2,677	—

本資料の取り扱いについて

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、11月11日時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は様々な要素により記載の数値とは異なる可能性があります

IRに関するお問い合わせ

三機工業株式会社 コーポレート本部 経営企画室広報・IR部

TEL 03-6367-7041